

## 兆し①

～「ヘッドスパ」が人気。「ハンドケア」「フェイシャル」も～

### 「本質キレイ女子」が若年齢化。20代にも急増中！

ヘアサロンで、20代女性における「ヘッドスパ・クリームバス」の1年以内の利用率（以下、利用率）は前年からの伸びが、他の年代と比べてダントツに高く、30代の利用率を逆転。ニーズが急激に高まっていることがうかがえる。このほか、「ハンドケア」（ネイルサロン）「フェイシャル」（エステサロン）の20代の利用率も、他の年代に比べ前年伸び率が高かった。これら「内側からの美容」はオトナ女性の美容意識として定着していたが、20代にも急増しているようだ。

美容マーケットの動きは・・・ヘッドスパのメニューも増え、取り扱いサロン数は増加の傾向。また「ヘッドスパ専門店」や「ハンドケア専門店」も登場。フェイシャルメニューを、ヘアサロンで提供し始めるサロンも。またネイルケア商品では、爪保護成分の入った高機能ネイルケア美容液が品切れになるなど、「本質キレイ」女子を取り巻くマーケットは今後も拡大が進む傾向。

#### INSIGHT

「本質キレイ」が20代女子に注目される背景には、①化粧を始める年齢の若年齢化によって、内面の美容への関心が早まっている②SNSを通して20代の憧れとなる芸能人・モデルなどのライフスタイルが垣間見られるようになり、彼女たちの健康的な生活による美活に影響を受けているなどが考えられそうだ。

## 兆し②

～ネイル・フェイシャル・アイビューティでは第1位の条件！～

### 20代・30代女子が同じサロンに通い続ける理由は「ネット予約ができるから」！？

20代・30代女子にとって、「ネット予約できるサロン」はもはや「出来ていて当たり前」！？ ネイルサロン・エステサロン（フェイシャル）・アイビューティサロンの「現在利用しているサロンの継続理由」では、「ネット予約できる」が20代・30代女性の第1位に！ ヘアサロン、リラクゼーションサロンにおいても、20代・30代女子が重要視する傾向に。サロンへの来店が低頻度化する中、利用頻度が高まるヒントになりそうだ。

美容マーケットの動きは・・・美容サロンをネット予約する動きが広がりつつある。『ホットペッパービューティー』のネット予約数は、ネイルサロンは前年\*約1.6倍、エステサロンは約1.9倍、アイビューティサロンは約1.8倍と大幅に拡大。

\*2014年3月→2015年3月の比較

#### INSIGHT

スマートフォンの普及率は、20代が94%に達し（総務省、平成27年5月発表）「いつでも・ダイレクトに」が、もはや商品・サービス選びに必須の条件！？ 「何かを待つ」感覚がないのも、この年代の特徴？ 「今すぐ・ここで」できないものは、やらない、そういう消費価値観がネット予約を重要視する背景にありそうだ。

## 兆し③

～理美容室の利用率と脱毛の経験率が増加！～

### 30代男子「"美"だしなみ意識」が向上中！？

男性のヘアサロンの利用率のうち、30代が前年比10ポイント増で全年代のトップ。20代の利用率を上回る結果に。理美容室でも、30代男性の利用率が他の年代と比べて伸びが大きい。エステサロンの脱毛でも、30代の経験率が上がっており、他の年代より定着が進んでいるといえる。「美容意識」が当たり前化した30代前半と、職場で増えてきた女性に対して「身だしなみ」を意識し始める30代後半。30代男子の「"美"だしなみ意識」に注目だ。

美容マーケットの動きは・・・ヘアサロンでは薄毛対策などのメンズ向けメニューを拡充。理美容室でも「バーバー」と呼ばれる「オシャレ床屋」が登場し、サクッと身だしなみを整えたいサラリーマンを中心に人気だ。また、分かりやすい価格・メニュー・予約なしの「男性専門脱毛」も台頭。ファッションの変化によるニーズの増加、カミソリ負けが気になる男性たちにも支持を集めている。自宅美容においても家電メーカーと育毛メーカーのコラボなど男性向け美容家電の進化にも注目だ。

#### INSIGHT

今後も女性の社会進出はますます広がるだろう。30代男性は、「部下にも女性、上司にも女性」という環境に身を置くケースが増えるかもしれない。彼女たちと円滑なコミュニケーションを取るためには、「美"だしなみ意識を高めることは必須」と捉えている男性も多いのではないだろうか。